

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121141039	ファッショントレンド Fashion trends	鈴木 路乃			2	選択	4前期

科目の概要

ライフスタイルのデザインを提案するために必要な専門的知識を身につけ、人々の日常生活をファッションおよび地域活性の面から支援することができる人の育成を目指します (DP4)。
そのためにこの科目では、アパレル企業における商品企画について、企画のプロセス・職種別の業務内容を理解し、マーケティング分析・ターゲット調査・カラー展開・素材の選定・アイテムデザイン・価格設定に至る全段階を学び演習することにより、計画的なブランディング能力を習得します。
担当講師はアパレルメーカーでパタンナーとして勤務した後、フリーランスとなり様々なブランドの商品企画を担当してきた実務経験があり、この授業では商品企画の流れを具体的に説明します。

学修内容	到達目標
① アパレル業界の流通の仕組みを理解する。 ② アパレル業界の職種と業務内容を知る。 ③ シーズントレンドと消費者ニーズを分析する。 ④ オリジナルブランドを作り、商品を企画する。 ⑤ オリジナルブランドのマップを作成し、発表する。	① アパレル業界の仕組みと専門用語を説明することができる。 ② 自分に合った職種を見つけ、進路につなぐことができる。 ③ ターゲットの設定、カラー・素材・デザインを提案することができる。 ④ 商品ができるまでのプロセスを構成することができる。 ⑤ 販促に効果的なビジュアルを用いて企画案を発信することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	トレンドや業界の仕組みを理解する為に、自ら市場調査に行くなどして自己学習ができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題を計画的に仕上げるための手順や方法を考え、到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	アパレル企業の取り組みを分析し、情報を整理してブランディングの課題は何かを考え発見できる。
	計画力	
	創造力	今までのアパレルの固定概念に捉われないこと、これからのアパレルの提案ができる。
チームで働く力	発信力	聞き手に伝わりやすい発表の仕方や話すポイントが整理され、発表することができる。
	傾聴力	発表者、発言者には丁寧に耳を傾け、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する。
 参考文献：「ファッションマーケティング」菅原正博他、ファッション教育社
 参考文献：「ファッションビジネス用語辞典」ファッションビジネス学会、文化出版局
 参考資料：「カラーイメージスケール」(株式会社日本カラーデザイン研究所)
<https://www.artiencgroup.com/ja/column/chromatics/basic/004.html>
 教科費：作品用ファイル¥120(全員)、配色カード¥1,500(希望者)、ドローイングペン¥600(希望者)

他科目との関連、資格との関連

ファッション関連科目で獲得した知識・技術を総合的に活用し、発揮できる科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
「カラーコーディネート」「ファッションコーディネート」「アパレル科学」等の選択科目を事前に履修しておくことが望ましい。日頃からファッション情報やトレンドに興味を持ち、さまざまな媒体から情報を収集しておくこと。	各單元ごとにマップを提出すること。 マップ製作時にスマホやタブレットを用いる場合があるため、その時間に限り使用を許可します。その際に発生する通信料等は自己負担となります。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	20	①		✓	アパレルの商品企画 「ブランドポリシー&ターゲット企画表」 (獲得) マーケティングと商品企画の基礎知識 (50%) (活用) 自ら市場調査に行くなどして広く調べ、トレンドや業界の仕組みを理解する (25%) (解決) 時代背景とトレンドを交えて自分の考えでブランドの企画立案ができる (25%)
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤			
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	70	①	✓	ターゲット企画に合わせたイメージの具体化 「ターゲットイメージマップ」 「シーズイメージボード」 「スタイリングマップ」 「デリバリーアイテムマップ」 ターゲット企画に合わせた商品のデザイン、提案 「企画絵型表」 「作品発表」 各單元ごとにマップを提出し、能力を評価する (獲得) 商品企画の応用知識、計画的・戦略的なマーチャンダイジングの知識 (50%) (活用) トレンドとニーズの分析に基づいたターゲットの設定ができる (30%) (解決) テーマと企画の内容に矛盾なく、オリジナリティや説得力がある提案ができる (20%)			
		②	✓				
		③	✓				
		④	✓				
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	・課題の期限後提出は完成度が高くても減点する (実行力) (規律性) ・出席に加え、提出課題の内容から、本人の「興味・関心」や「授業への参加度」「学修意欲」「知識」「理解度」を評価する (主体性) ・無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができるか (規律性)		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A (優) の目安：商品企画の基礎を正確に理解し、主体的に市場を調査し、高度な分析ができる。最新トレンドとニーズに合わせたターゲットの設定と、カラー・素材・デザインの効果的な提案ができる。オリジナリティがあり、ビジネスとしても成り立つ将来性のあるマップが計画的に製作できる。 ※上記に対して極めて高い評価が与えられると判断された場合、S (秀) とする。	B (良) の目安：商品企画の基礎を理解し、市場を調査し、分析ができる。トレンドとニーズに合わせたターゲットの設定と、カラー・素材・デザインの提案ができる。マップが計画的に製作できる。 C (可) の目安：商品企画の基礎をおおむね理解しているが、調査や分析は十分ではない。ターゲットの設定とカラー・素材・デザインの内容が矛盾している。課題の提出が遅れている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	アパレル業界の全体構造について 繊維から商品になるまでの流通の仕組みを知り、川上から川下までを職種別に学ぶ	講義	職種別の業務内容が説明できる	(予習) シラバスを確認しておく (復習) 職種別の仕事内容をレポートにまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	ブランドポリシー&ターゲット企画表の作成 ブランド企画において必要な調査・分析の方法を学ぶ	講義、演習、PCを利用し情報収集する	自分が企画するブランドのターゲットが設定できる	(予習) 自分の好きなブランドについて調査する (復習) ブランドポリシー&ターゲット企画表を完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	ターゲットイメージマップの作成 ブランドコンセプトを視覚的に伝える方法を学び、イメージカラーを設定する	講義、演習、PCを利用し画像収集・カラージュマップを作成 復習課題のフィードバック google classroomによる課題の提出	ターゲットを構成する資料を集めることができる	(予習) ターゲットイメージマップに必要な写真や画像を集めてくる (復習) ターゲットイメージマップを完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	アパレルのシーズンについて 大きく2つのシーズンに分かれる理由と、シーズンごとの展開アイテムやサイクルの捉え方を学ぶ	講義 復習課題のフィードバック google classroomによる課題の提出	アパレル商品の店頭展開時期について説明できる	(予習) ファッションカレンダー(社会行事)を製作する (復習) ファッションカレンダー(素材)を加える	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5	シーズンイメージボード①の作成 企画提案するシーズンをSS・AWどちらかで設定し、シーズンイメージを視覚的に表現する方法を学ぶ	講義、演習、PCを利用し画像収集・カラージュマップを作成 復習課題のフィードバック google classroomによる課題の提出	シーズンテーマの設定ができる	(予習) シーズンイメージボードに必要な写真や画像を集めてくる (復習) シーズンイメージボード①を完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	シーズンイメージボード②の作成 シーズンカラーとイメージする素材感を設定し、視覚的に表現する方法を学ぶ	講義、演習、配色カードと生地スワッチを用いてマップを作成 復習課題のフィードバック google classroomによる課題の提出	流行色について理解し、オリジナルブランドにおとしこめる	(予習) 流行色について調べる (復習) シーズンイメージボード②を完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	スタイリングマップ①の作成 展開アイテムの参考にするシルエットやコーディネートを集める	講義、演習、PCを利用し画像収集・カラージュマップを作成 復習課題のフィードバック google classroomによる課題の提出	展開アイテムが設定できる	(予習) スタイリングマップに必要な写真や画像を集めてくる (復習) スタイリングマップ①を完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	スタイリングマップ②の作成 展開アイテムの参考にするデザインのディテールや素材を集める	講義、演習、PCを利用し画像収集・カラージュマップを作成 復習課題のフィードバック google classroomによる課題の提出	展開アイテムのデザインポイントが説明できる	(予習) スタイリングマップに必要な写真や画像を集めてくる (復習) スタイリングマップ②を完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	デリバリーアイテムマップの作成 1年間の展開アイテム数を計算し、6ヶ月分の展開アイテム数を決める さらに1ヶ月分の具体的なアイテムデザイン案と、素材・カラー展開を決める	講義、演習、PCを利用しExcel表計算を活用したマップを作成 復習課題のフィードバック google classroomによる課題の提出	ファッションカレンダーとの整合性があるアイテム数を設定できる シーズン・アイテムに合う素材とカラーを設定できる	(予習) アパレルブランドが1年間に展開するアイテム数を調査する (復習) デリバリーアイテムマップ①を完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	デリバリーアイテムマップの作成 1ヶ月分の具体的な商品名の提案 データ入力	講義、演習、PCを利用しExcel表計算を活用したマップを作成 復習課題のフィードバック google classroomによる課題の提出	ファッションカレンダーとの整合性があるアイテム数を設定できる シルエットや素材感の伝わる商品名を考案できる	(予習) 素材調達 (復習) デリバリーアイテムマップ②を完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	ハンガーイラストについて ジャケット、シャツ、パンツ、スカートの描き方を学び、素材の表現技術を習得する	講義、演習、手書き又はPCを利用しハンガーイラストを作成 復習課題のフィードバック	正確なハンガーイラストを描くことができる	(予習) 具体的なデザインを2素材分考えてくる (復習) ハンガーイラストを2素材分完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12	企画絵型表の作成① 企業で実際に展示会等で使用する絵型表について学ぶ	講義、演習、手書き又はPCを利用しハンガーイラストを作成	企画絵型表の必要性・重要性について理解できる	(予習) 具体的なデザインを2素材分考えてくる (復習) ハンガーイラストを2素材分完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	企画絵型表の作成② 絵型表にハンガーイラストを貼り、価格・サイズを設定する	講義、演習、手書き又はPCを利用しハンガーイラストを作成	販売価格・サイズ展開の設定ができる	(予習) 具体的なデザインを2素材分考えてくる (復習) ハンガーイラストを2素材分完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	企画絵型表の作成③ 企画絵型表を合計6素材分完成させる 今までのマップをファイルにまとめ、表紙を作り仕上げる	演習、手書き又はPCを利用しハンガーイラストを作成 配色カードと生地スワッチを用いて企画絵型表を作成	マップをまとめあげることができる	(予習) 今までのマップをまとめ、矛盾があれば修正する (復習) 全てのマップを完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	作品発表 企画したマップを使い、プレゼンテーションを行う 傾聴する学生は評価コメントをつける	プレゼンテーション、作品発表と評価を行う マップファイルの提出 (後日コメントを付けて返却)	学びが活かされたマップ作りができ、分かりやすい発表ができる	(予習) 発表の準備をする (復習) これまでの振り返りと考察をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力